

第三次富士河口湖観光立町推進基本計画

第2回観光みらいWG

■ 日程

2026年10月1日(木) 10:00～12:00

■ 場所

富士河口湖町役場 コンベンションホール

■ 議事

1. オリエンテーション

(前回の振り返り、課題・アイデア一覧、町の課題整理)

2. ワーク① 取り上げるアイデアを決める

3. ワーク② プロジェクトシートの作成

4. 【全体共有】各班による発表

5. 講評

■ 参加者

A班	大石観光協会
	小立観光協会
	(一社) 西湖観光協会
	富士河口湖町役場
	JTBF
B班	河口湖温泉旅館協同組合青年部
	(一社) 富士河口湖町観光連盟
	富士河口湖町役場
	JTBF
欠席	河口湖温泉旅館協同組合青年部
	(一社) 勝山観光協会
	河口湖温泉旅館協同組合青年部
	河口湖温泉旅館協同組合青年部
	北河口湖観光協会

オリエンテーション：前回の振り返りと本日のゴール

■使用資料（一部）


富士河口湖町
 TOWN OF FUJIKAWAGUCHIKO

本日の目的とゴール

本日のゴール

「自分たちで動かせるプロジェクト」を考える

今日は、行政や関係団体に「やってほしいこと」ではなく、自分たち同士で「できること」を考える場です。
 誰と組むか、実現に向けて何をやるまで具体的に考えていきます。

前ごとのマスト課題（1つ目のプロジェクトはここから。2つ目は自由）

A 班	B 班
河川湖への集中・周遊/二次交通・移動 周遊が広がる、早朝送迎の負担、駅前滞り、洗滞。 アイデア No.1~7 or 新規（別紙A3参照）	住民の理解・恩恵の見える化 観光の恩恵が町民に見えない。 アイデア No.20~23 or 新規（別紙A3参照）

本日の進め方（10:00~12:00/120分）

10:00~10:10 10分	オリエンテーション	前回の振り返り/課題とアイデアの一覧/町の課題整理
10:10~10:25 15分	ワーク① 取り上げるアイデアを決める	一覧のNoに○。新しいアイデアも歓迎。マスト+自由の2つ
10:25~10:55 30分	ワーク②-1 プロジェクト1（マスト課題）	シートに付箋で（直接書いてもOK）
10:55~11:20 25分	ワーク②-2 プロジェクト2（自由）	10:55に事務局が合図して切り替え
11:20~11:30 10分	仕上げ	書き足し、余裕があれば3つ目に着手
11:30~11:50 20分	発表・共有	各班8分（1プロジェクト4分）+コメント
11:50~12:00 10分	講評	

2


富士河口湖町
 TOWN OF FUJIKAWAGUCHIKO

これまでに出了課題と取組アイデア（1/2）

第1回WGと事後課題で出了課題を、VICEの枠組みで整理しました。別紙のA3資料と同じもの。

課題（皆さんの言葉から）	No	取組アイデア	出どころ
V	1	エリア共同送迎/バス（予約制・複数施設で共同利用）	事後課題
	2	町内巡回/バスの増便・宿泊施設送迎の共同運行	事後課題
	3	駅前の人流を用途別に再設計（バス・送迎・タクシーの整理）	事後課題
	4	遊園地等のリアルタイム共有（飲食・観光地・交通）	事後課題
	5	オープンマップ観光バス（移動の観光コンダクター化）	事後課題
	6	公式観光サイトへの情報集約（各施設から情報提供）	事後課題
	7	P&R（郊外駐車場+シャトルバス）	富士回廊WG
V	案内・情報の不足（トイレ、夕食、自転車）	8 公共トイレマップ・夕食スポットマップ 9 自転車利用マップ・レンタサイクル案内	事後課題 事後課題
V	滞在が短い。夜の過ごし方がない	10 河口湖大橋のライトアップ・湖周プロジェクト 11 大橋を使った大規模なイベント（ファッションウィーク等）	事後課題 第1回WG
I	食・飲食（夕食の提供不足、城内調達、郷土料理）	12 飲食店との連携・夕食情報の提供 13 一次産業と連携した域内調達率の向上 14 郷土料理の提供強化	第1回WG 第1回WG 第1回WG
I	人手不足・働く環境（保育、待遇、住宅）	15 観光業サポート保育・学童（土日祝対応・組合の福利厚生化） 16 高賃金化・行政による積極サポート 17 宿泊税で運営する幼稚園・保育園	事後課題 事後課題 事後課題
I	子育て・移住（公園、遊び場、給食）	18 「子育てしたい町」（公園・遊び場の整備など） 19 給食の質・無償化を町HPで発信	事後課題 事後課題

出どころ：事後課題=第1回WG後の宿題で提出されたアイデア/第1回WG=7/15のグループワークでの議論

5


富士河口湖町
 TOWN OF FUJIKAWAGUCHIKO

ワーク① 取り上げるアイデアを決める（10:10~10:25）

- 課題・アイデア一覧（A3）を見ながら、プロジェクトにするアイデアを2つ決めます。
- 新しいアイデアも大歓迎です。



課題・アイデア一覧（A3・各1枚）

5分 一覧を眺める
 気になるアイデアのNoに○。
 新しいアイデアがあれば右の欄に付箋（30、31…と番号を）

5分 1つ目：マスト課題から
 A班はNo.1~7、B班はNo.20~23の中から、新しいアイデアでも可

5分 2つ目：自由に
 一覧のどの課題からでも、新しいアイデアでも可。

選ぶときの3つの視点

- ☐ 自分たちが「やりたい」と思えるか
- ☐ 組める相手の顔が浮かぶか
- ☐ 来月、一歩踏み出せるか

今日考えるのは「行政や関係団体にやってほしいこと」ではなく、「自分たち同士でできること」です

行政に担ってほしい部分があれば、シートの「役割分担」に書けば十分です。「完璧な計画」より「来月動き出せる小さな一歩」を。

11


富士河口湖町
 TOWN OF FUJIKAWAGUCHIKO

ワーク② プロジェクトシートを書く（10:25~11:20）

1プロジェクト=A0シート1枚。付箋でも、直接書き込みでもOK。プロジェクト1を30分、10:55の合図でプロジェクト2へ。



進め方のルール

- 付箋でも、直接書き込みでもOK
 付箋は1枚に1つのこと。太いペンで大きく。貼り直せるので、まず書いて貼る
- ②は自分たちの言葉で
 一覧のキーワードを写すのではなく、誰のどんな困りごとかを書く
- ⑤と⑥がいちばん大事
 「誰と」「まず何を」が書けていれば、動き出せる
- 10:55で切り替え
 事務局が合図。プロジェクト1は一旦置いて2へ。仕上げの時間で戻れる

書いたら「このプロジェクトが動いたら、町はどう変わるか」を一言で。発表の締めになります。

12

ワーク「自分たちで動かせるプロジェクトを形にする」

■実施の様子



第1回WGと事後課題で出た29件のアイデア（A3一覧）をもとに、班ごとに「マスト課題」から1つ、自由に1つ、計2つのプロジェクトをA0シートに整理した。

- ・ A班マスト課題：河口湖への集中・周遊／二次交通・移動
- ・ B班マスト課題：住民の理解・恩恵の見える化

■全体共有の様子



グループワーク結果

■A班

プロジェクト1（マスト課題：河口湖への集中・周遊／二次交通・移動）

プロジェクトシート

班名 A班

①プロジェクト名 混雑情報のリアルタイム共有 + 駅以外の拠点整備

②解決する課題 混雑、どんな状況でも、一時的な混雑を解消するのではなく、長期的な混雑を解消する

③具体的な内容 何を、誰に、どのように

④実施場所・時期 どこで、いつから

⑤役割分担 観光連盟のHPに掲載。駐車場貸しは民家・宿泊事業者、送迎はタクシー事業者

⑦ヒト・モノ・カネの課題 駅周辺の二次交通の改善

⑧その他 観光連盟のHPに掲載。駐車場貸しは民家・宿泊事業者、送迎はタクシー事業者

①プロジェクト名

混雑情報のリアルタイム共有 + 駅以外の拠点整備

②解決する課題

駅前・観光地への集中と混雑、駐車場不足。高齢の事業者には駅への送迎負担が大きい

③具体的な内容

AIで混雑状況をマッピングし観光連盟HPでリアルタイム提供。主要スポットにライブカメラ。民家や宿の空きスペースをスポット駐車場として貸し出し、空き状況を共有。タクシー事業者に送迎代行を依頼。HPの構成で動線を誘導。駅以外の場所（大石地域等）に新たな交通拠点整備。

④実施場所・時期

大池公園、八木崎公園、大石公園、ロープウェイ、遊覧船乗り場（ライブカメラの候補）

⑤役割分担

観光連盟のHPに掲載。駐車場貸しは民家・宿泊事業者、送迎はタクシー事業者

⑦ヒト・モノ・カネの課題

駐車場の恒久的な整備

⑧その他

外国客が増えてきたら日中友好屋台村など、さらなる誘致につなげる

[illegible]

実行は難しくなく、費用もかからない

グループワーク結果

■B班

プロジェクト1（マスト課題：住民の理解・恩恵の見える化）

プロジェクトシート

① プロジェクト名 120%観光宣言！

② 解決する課題 観光に振り切った町でありながら、事業者の取組や観光財源の使途が住民に見えず、渋滞やマナーの負担感だけが残る

③ 具体的な内容

「伝える」：観光から利他の発信、意識の統一、恩恵の理解、住民理解、脱税事業者以外の（住民）全戸面配布、広報誌、SNS、CATV、観光連盟からSNS発信、CATV各イベント周知の発信、広報誌でイベント周知の発信、旅館組合と連携イベント！

「感じてもらう」：事業者⇒町民、町民のイベント等の参加、混雑を緩和してもらう

④ 実施場所・時期

⑤ 役割分担

⑥ 実現に向けてすべきこと

⑦ ヒト・モノ・カネの課題

ガッツ！

①プロジェクト名

120%観光宣言

②解決する課題

観光に振り切った町でありながら、事業者の取組や観光財源の使途が住民に見えず、渋滞やマナーの負担感だけが残る

③具体的な内容

「伝える」：事業者の社会貢献（子ども食堂への寄付等）や観光財源の使途を発信。町長による宣言をキックオフに。

「感じてもらう」：まちフェスに観光ブースを出し、観光財源を原資にお菓子・飲み物・商品券を配布。立ち寄り施設の町民優待

④実施場所・時期

町の広報誌、各社SNS、CATV、まちフェス等の町民向けイベント

⑤役割分担

観光連盟＝SNS発信、CATV＝イベント周知、町＝広報誌、旅館組合×連盟＝合同イベント

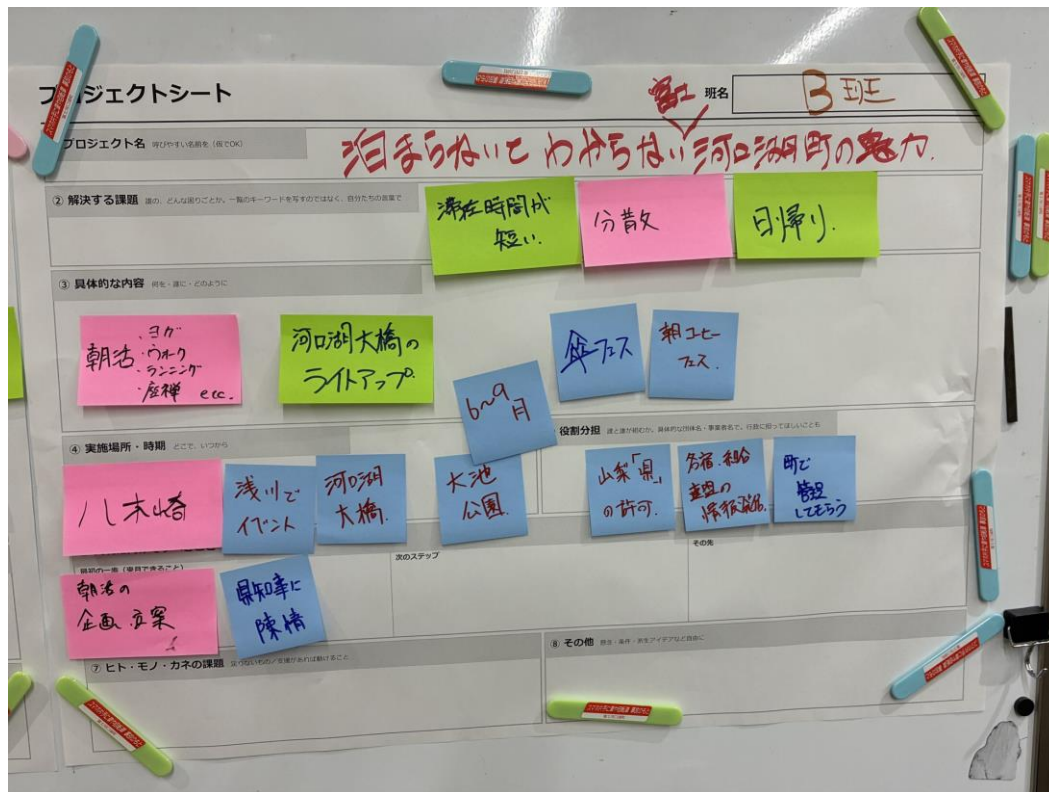
⑥実現に向けてすべきこと

連盟・旅館組合・町の三者ミーティング → イベント決定後にSNSで発信 → イベント実施

⑦ヒト・モノ・カネの課題

財源は確保されている。あとは「ガッツ」。先輩方が動かなければ青年部単体でも動く

プロジェクト2 泊まらなるとわからない河口湖町の魅力



①プロジェクト名

泊まらないとわからない河口湖町の魅力

②解決する課題

日帰り客が多く滞在時間が短い。日中への集中（朝・夜に分散すれば混雑緩和にも）

③具体的な内容

朝活：富士山・湖を活かしたヨガ、ウォーキング・ランニング、カヤック等。旅館経由の募集型で20名程度からスモールスタート。朝コーヒーフェス。

夜：河口湖大橋の期間限定ライトアップ（ウィーク／月間）。閑散期・雨の6～9月は「傘フェス」「雨とライトアップの撮影選手権」

④実施場所・時期

八木崎公園・大池公園（朝活）、河口湖大橋と湖岸側の観覧拠点（ライトアップ）。6～9月の閑散期

⑤ 役割分担

旅館組合・観光連盟＝企画と情報発信、町＝総合管理。大橋は県管理のため山梨県の許可が必要

⑥実現に向けてすべきこと

朝活は企画立案→三者ミーティングで実現可能。ライトアップは県知事への陳情から

⑦ヒト・モノ・カネの課題

地域内で一体感を高める必要がある